

## 【涼房システム】

冷房時期に地下を通った水(12℃～18℃程度)をパネルヒータ(暖房兼用)に流し、「初夏・残暑の冷房」と「真夏の涼房(冷房負荷の軽減)」をポンプの運転のみで行なうシステムです。

これは、地熱ヒートポンプの「フリークーリング機能」を採用したものです。暖冷房兼用の当社のパネルヒータと組み合わせる事により、意匠的にも機能的にも高品質な物を作る事ができるのです。

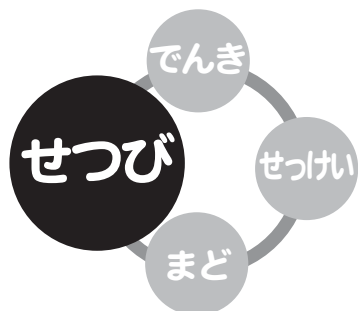
～キャットウォークに手摺として設置～

## 【低温水暖房システム】

地熱ヒートポンプシステムでのヒータに流れる温水の温度は「35℃」前後。一般的に電気・灯油ボイラーでは、真冬に「60℃」前後の温水をヒータに流し暖房をします。今回のシステムでは「35℃」前後の温水なので非常に「やわらかい輻射」と「高効率な蓄熱性能」が実現できています。

低温水暖房が出来る1番の理由は「高断熱・高气密」の計算し尽くされた建物だからこそなのです。ヒータに触れても「ぬるい」又は人によっては「冷たい？」と感じる温水温度での暖房を是非体感してください。

～各 個室・床下に設置  
(玄関・洗面は床暖パイピング)～



担当者  
は皆さまに  
ココを見て欲しい

## 【地熱ヒートポンプ】

(サンボット社製：GSHP-701)

地熱エネルギー「3」+電気エネルギー「1」  
=トータル暖房出力「4」

これは単純に電気ボイラーシステムで、同じ暖房出力「4」の家と比較しても「電気消費量が1/4になる」ということです。

～小上がり 床下 に設置～

## 【月々の暖房料金 1/6】

(電気ランニングコスト)

今回のプランの「高断熱仕様(Q-HOUSE)+地熱HPシステム」と「一般的な断熱仕様の住宅+灯油ボイラーシステム」を概算で比較してみると、

- 灯油ボイラーの場合・暖房費■  
120,000円～150,000円程度/年
- 今回の地熱ヒートポンプ・暖房費■  
18,000円～25,000円程度/年

約半年間、暖房をつけていたとして、従来の灯油ボイラーでは月々の暖房費(灯油代+100V電気代)は月々25,000円位。しかし、この家では月々5,000円以下！年間100,000円以上の違いが出てくるので高価と思われがちな地熱HPシステムですが約7年程度で元を取れます。しかも地熱HP本体のメンテナンスは灯油ボイラーと比較すると無いに等しく長寿命！

注1) ほくでん電気料金メニュー：ホットタイム22Lにて算出

注2) コスト算出方法は「高断熱仕様：Q値≒1.2W」「一般的な断熱仕様：Q値≒1.8W」/札幌市(外気温度-13℃)/延床面積：110㎡/灯油代：100円/ℓ

注3) 暖房の使用方法によって電気料金は個人差がありますのであくまで「概算・参考」の数値です。

